

2. 研究所の組織運営

2.1 当該年度の組織変更

2.1.1 教職員組織

令和 5 年度

4 月 1 日 斜面未災学研究センター設立

6 月 1 日 産学共同研究部門災害リスクファイナンス研究領域設置

2.1.2 教職員定員数の推移

年度	教授	助教授 ↓ 准教授	助手 ↓ 助教	技術 職員	計	備考
平 12	34	38	35	30	137	事務部, 宇治地区事務部に統合
平 13	34	38	35	28	134	
平 14	34	38	34	26	132	
平 15	34	38	34	26	132	
平 16	34	38	34	25	131	法人化に伴い技官・事務官の名称は廃止
平 17	34	38	34	25	131	改組, 4 グループ制導入
平 18	34	38	34	25	131	
平 19	34	38	34	25	131	
平 20	34	38	33	24	129	
平 21	34	38	33	23	128	
平 22	34	38	33	23	128	
平 23	34	38	33	23	128	
平 24	34	38	33	23	128	
平 25	34	38	33	23	128	
平 26	34	38	30	23	125	
平 27	34	38	28	23	123	
平 28	34	37	28	23	123	
平 29	34	35	28	23	120	
平 30	33	35	28	21	117	
令 1	33	34	28	21	116	
令 2	33	34	28	21	116	
令 3	34	35	23	21	113	
令 4	34	36	17	21	108	産学共同研究部門アートイノベーション (凸版印刷) 研究 領域設置 地震・火山研究グループ改組
令 5	34	36	17	21	108	斜面未災学研究センター設立 産学共同研究部門災害リスクファイナンス (SOMPO リス クマネジメント) 研究分野設置

注) 平成 19 年度以降再雇用職員振替分を含む

若手重点戦略定員、再配置定員、特定教員、特任教員は含まない

京都大学防災研究所年報 第 66 号 C の令和 4 年度教職員数等に誤りがあったので修正した

2.1.3 防災研究所職員数・職員構成 令和 5 年度

1. 教員数

[単位：人]

	令和5年度 (R6.3.31現在)																総数
	常勤										非常勤					併任教員数	
	現員数	任期制導入状況				現員数	非常勤										
		(女性数)	(外国人数)	(若手数) (40歳未満)	(若手数) (35歳以下)		(女性数)	(外国人数)	(若手数) (40歳未満)	(若手数) (35歳以下)	(女性数)	(外国人数)	(若手数) (40歳未満)	(若手数) (35歳以下)			
教授	40	3	5	0	0	6	1	2	0	0	0	5	0	0	0	0	45
准教授	35	(3)	(4)	(3)	(0)	(6)	(0)	(3)	(1)	(0)	0	2	(1)	(0)	(0)	(0)	37
講師	1	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	7	(4)	(0)	(1)	(1)	8
助教	24	(6)	(5)	(17)	(14)	(17)	(6)	(4)	(14)	(12)	0	0	(0)	(0)	(0)	(0)	24
助手	0	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	0	(0)	(0)	(0)	(0)	0
技術職員	19	(3)	(0)	(9)	(6)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	82	(29)	(2)	(64)	(64)	101
事務職員	21	(21)	(1)	(1)	(1)	(17)	(17)	(1)	(1)	(1)	0	40	(36)	(1)	(4)	(4)	61
その他	15	(2)	(9)	(12)	(12)	(15)	(2)	(9)	(12)	(12)	0	31	(8)	(3)	(6)	(3)	46
合計	155	(39)	(25)	(42)	(33)	(61)	(26)	(19)	(28)	(25)	0	167	(78)	(6)	(75)	(72)	322

※()は現員数の内数

○その他人員 (R6.3.31現在)

【常勤】特定研究員 1 4 名、特定研究員 (学振PD) 1 名
 【非常勤】研究員 (非常勤) 2 3 名、労務補佐員 1 名、派遣職員 7 名

防災研究所職員配置表

所長：中北 英一 (R3. 4. 1~R6. 3. 31) 副所長：森 信人 (将来計画担当)・松島信一 (研究・教育担当)・渦岡良介 (広報国際担当) (R3. 4. 1~R6. 3. 31)・吉村令慧 (評価公正担当) (R4. 4. 1~R6. 3. 31)

令和 6 年 3 月 1 日現在

研究グループ名・部門・センター名	教授	准教授・講師	助教	事務・技術補佐員等	非常勤研究員等
総合防災研究グループ (グループ長：畑山 満則 R5. 4. 1~R6. 3. 31)					
社会防災研究部門	(部門長：牧 紀男 R5. 4. 1~R6. 3. 31)				
都市空間安全制御	境 有紀	西野 智研		伊藤 晴子 (派) (兼) 岡田 達司 (派)	
都市防災計画	牧 紀男◎	関口 春子		山岡 孝子 (t)	李 惠智 (r)・中尾 真介 (r)
防災技術政策	佐山 敬洋	LAHOURNAT, Florence (講師)	YAMAMOTO, Eva Mia Siska (特)	井上 園 (支)・才寺 香織	菅原 快斗 (特)
防災社会システム	多々納 裕一	SAMADDAR, Subhajyoti	LIU, Huan (特)	加藤 靖代 (支)・マシューズ 歩来 (支)	RAHADIANTO, Haris (特)・黒田 望 (k)
地域医療 BCP 連携 (R6. 2. 8~R11. 2. 7)	CLAMMER, John Robert (特別招聘教授) 大鶴 繁 (連携)	藤見 俊夫		藤松 奈美 (t) 出口 友佳理 [京大病院]	

国際防災共同研究 (客員)	牧 紀男(兼)	倉田 真宏(兼) SUBIR, Sen☆			川瀬 博(寄附研 究部門教員)・ SUN, Jikai(特)・ WANG, Ziqian(特)
地震リスク評価高 度化(寄附)			伊藤 恵理(特)	伊藤 晴子 (派)(兼)	
災害リスクファイ ナンス (SOMPO リスクマネ ジメント)(産学共 同)	松島 格也(特)	齊藤 龍(特)	鶴島 大樹(特)	飯山 円	
附属巨大災害研究 センター	(センター長: 畑山 満則 R5. 4. 1~R7. 3. 31)				
巨大災害過程	矢守 克也		中野 元太	酒井 順子 (支)・伊藤 久 美子(t)(兼)	岡田 夏美(特)
災害情報システ ム 災害リスクマネ ジメント	畑山 満則◎ CRUZ, Ana Maria	廣井 慧		清水 豊子 宮内 智子(支)	藤田 翔乃(学) Namulun(r)
歴史災害史料解 析(客員)	近藤 誠司☆	竹内 裕希子☆			
地域災害(客員)	姥浦 道生☆	宮川 祥子☆			
国際災害情報ネ ットワーク(客員) アート/パブリシ ョン(凸 版印刷)(産学共 同)	DANDOULAKI, Miranta☆ 土佐 尚子(特)		PANG, Yunian(特)	西村 千鳥	櫻井 繁樹(k)・ 中村 伊知哉(k) 中津 良平 (k)[土佐研: 吉 田キャンパス]
地震・火山研究グループ (グループ長: 松島 信一 R5. 4. 1~R6. 3. 31)					
地震防災研究部門	(部門長: 池田 芳樹 R5. 4. 1~ R6. 3. 31)				
地震発生機構	宮澤 理稔	山田 真澄		松島 正美(兼)	井上 公(k)[防 災科研] HALLO, Miroslav(学・ 外)
強震動	岩田 知孝	浅野 公之		浅野 幸	
耐震基礎	後藤 浩之			森 美穂(兼)	澤田 純男(k)
耐震機構	池田 芳樹◎	倉田 真宏		蒲生 千里	HUANG, Jiantao(r) SHEN, Shaodong(学・ 外)
附属地震災害研究 センター	(センター長: 澁谷 拓郎 R5. 4. 1~R7. 3. 31)				
地震情報	大見 士朗	片尾 浩		三和 佐知栄・ 秋月 美佳	野田 雄貴(r)
宇宙測地	西村 卓也		徐 培亮		上田 拓(特・ 学振 PD)・岡田 悠太郎(学)・ MPUANG, Admore

			西川 友章 ROUET-LEDUC, Bertrand Philippe Gerard(特)		Phindani(特)
内陸地震	深畑 幸俊 矢守 克也 (兼)(阿)	山崎 健一(宮)		上西 昌子 (t)(阿)	野末 陽平(学)
海域地震	澁谷 拓郎◎	伊藤 喜宏	山下 裕亮(宮)	坪内 まどか・ 平尾 由美香 (派) 森山 富士子 (支)・伊藤 久 美子(兼) 荒木 紀子	末永 伸明 (k)[神戸大]・ CHEN, Yan- han(r)
地盤震動	松島 信一	長嶋 史明		戸高 可奈(宮)	
地球計測					
断層物理		野田 博之			
地球物性(客員)	堤 浩之☆				
附属火山活動研究センター					
(センター長：井口 正人 R4. 4. 1~R6. 3. 31)					
火山噴火予知 (桜)	井口 正人◎ 岩田 知孝(兼) 大見 士朗(兼)	中道 治久	山本 圭吾 山田 大志	武盛 照美・清 水 里恵 池田 裕美(t)・ 森田 依子(t) 竹ノ下 いづみ (t) 三反田 めぐみ (t)・池田 幸美 (l) 佐野 香那 (t)[鹿児島大 学]	棚田 嘉博(k)・ 小林 哲夫(k)
地殻流体(宇治)	吉村 令慧		畑 真紀	松島 正美(兼)	
巨大噴火(桜)	筒井 智樹(特)	為栗 健	味喜 大介(特)		
地盤研究グループ (グループ長：渦岡 良介 R5. 4. 1~R6. 3. 31)					
地盤災害研究部門					
(部門長：渦岡 良介 R5. 4. 1~R6. 3. 31)					
地盤防災解析	渦岡 良介◎	上田 恭平		谷 千佳子	JAYAKODY, Sanchitha Hema Sharendra(k) 太田 義将 (学)・近藤 有 史(学)
山地災害環境	松四 雄騎		齊藤 隆志	北村 和子・石 田 美穂(兼) 森川 亜紀子 (派)・牧嶋 平 (派)	
傾斜地保全		寺嶋 智巳		石田 美穂(兼)	

附属斜面未災学研究センター		(センター長 : 王 功輝 R4. 4. 1~R6. 3. 31)			
未災情報	林 宏一	松澤 真			WU, Shengshan(r)・黄 超(r)・李長沢(r)・YAN, Kongming(学・外)
斜面災害予測	王 功輝◎	土井 一生		中辻 久美子・佐原 朋子(t)	荒井 紀之(k)(徳地)
斜面モニタリング		山崎 新太郎(徳地)		石井 徳幸(徳地)(t)	
大気・水研究グループ (グループ長 : 田中 賢治 R5. 4. 1~R6. 3. 31)					
気象・水象災害研究部門		(部門長 : 竹見 哲也 R5. 4. 1~R6. 3. 31)			
災害気候	榎本 剛	吉田 聡	井口 敬雄	西出 依子	中下 早織(学)・小笠原宏司(r)・藤原 圭太(特)・LEE, Shao-Yi(特)・丹治 星河(特)・平野 創一朗(特)・入江 健太(k)・佐藤 宏樹(r)
暴風雨・気象環境	竹見 哲也◎	伊藤 耕介		戸田 嘉子・平野 花(t)	
耐風構造	丸山 敬	西嶋 一欽		登阪 美穂・久瀬 美紀 土井 こずえ(t)	
沿岸災害	森 信人	志村 智也	宮下 卓也	神崎 景子(支)・富永 ゆかり	LYU, Zuorui(特)・TSAI, Yu-Lin(特)・井上 智夫(k)・飯田 康生(学)
水文気象災害	中北 英一	山口 弘誠	仲 ゆかり	西村 由起子(支)・佐竹 美悠(支)	大野 哲之(学)・HARJUPA, Wendi(特)
気象水文リスク情報(寄附)		呉 映昕(特)	山本 浩大(特)	森本 慎子(t)(兼)・宮町 花織(t) 谷脇 朋子(派)	
附属流域災害研究センター		(センター長 : 川池 健司 R5. 4. 1~R7. 3. 31)			
流砂災害	中谷 加奈(宇)			田中 佳代(宇)(支)	
都市耐水	五十嵐 晃	米山 望		森 美穂(兼)・横尾 真由美(支)(自然災害学会)	石川 容平(k)・SHEN, Jie(r)
河川防災システム	川池 健司(宇)◎	竹林 洋史(宇)	山野井 一輝(宇)	正木 尚子[北大]・河津 ゆかり(支)(自然災害研究協議会)	和田 桂子(k)(宇)・鳥井 千恵(g)(宇)・HAN,
				山本 一美(宇)・田中 佳代(宇)(支)(兼)	

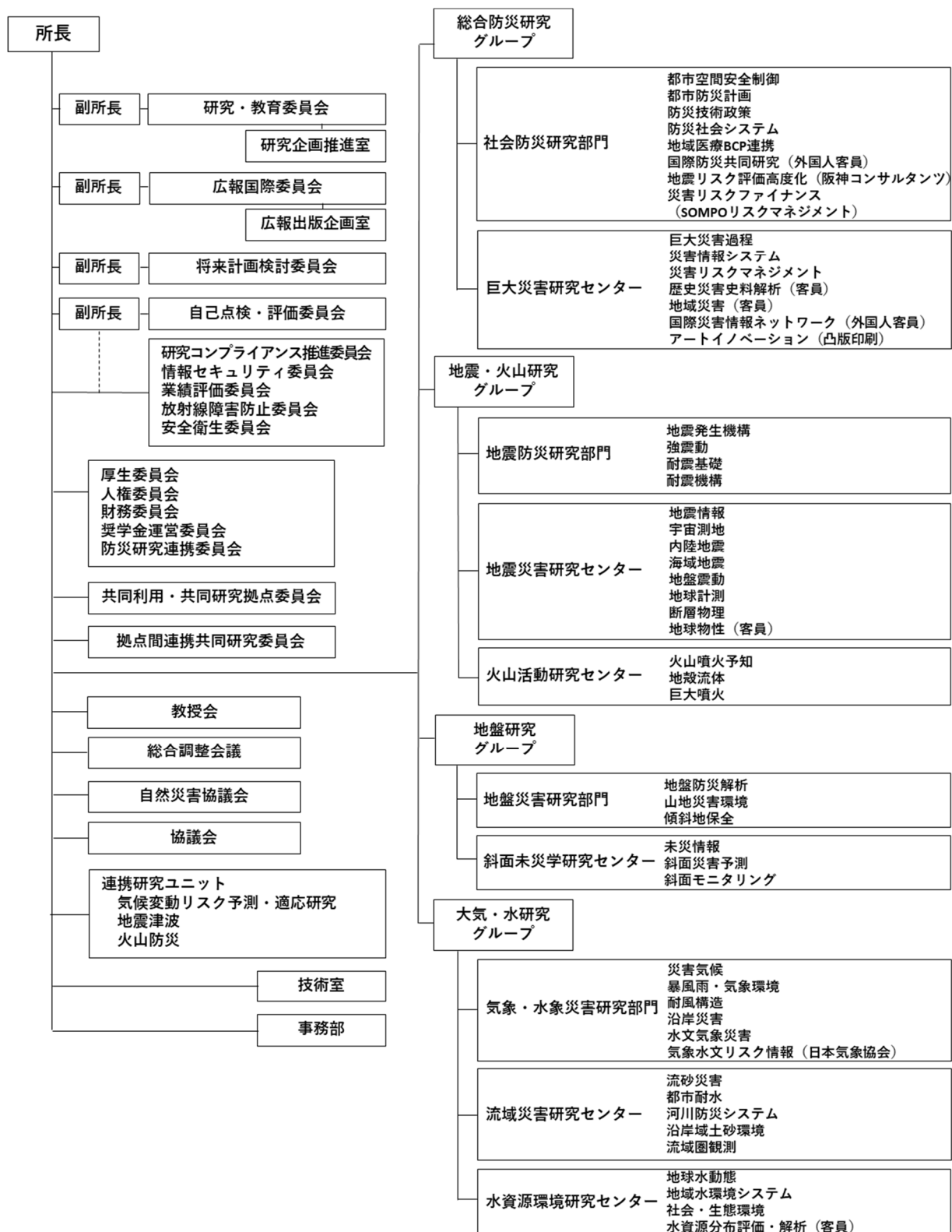
				小柴 孝太(宇)		Congji (r) (宇)
沿岸域土砂環境	山上 路生(宇)				松本 友理(宇)	
流域圏観測	井口 正人 (兼)(穂) 大見 士朗 (兼)(穂)	馬場 康之(白)		今井 優樹(白)	三浦 晴美	内山 清 (k)(大)・平原 珠麻(g)(潮)
附属水資源環境研究センター	(センター長：田中 賢治 R5. 4. 1～R7. 3. 31)					
地球水動態	堀 智晴			山田 真史	西川 洋子(支)	渡邊 紹裕(k)
地域水環境システム	田中 賢治◎	萬 和明			沢田 裕美 (支)・古谷 千 絵(支)	KHUJANAZA- ROV, Temur(特) ・永里 趙義 (学)・HU, Xue(r)
社会・生態環境	角 哲也	小林 草平			小原 久恵 (支)(兼)・森本 慎子(t)(兼)	中村 亮太 (学)・ BHARAMBE, Khagendra Pralhad(k)
水資源分布評価・解析(客員)	KANTOUSH, Sameh Ahmed 天野 邦彦☆	AHMED, Mohamed Saber Mohamed Sayed(特) 塩谷 哲史☆			小原 久恵 (支)(兼)・茨木 純子(支)	NGUYEN, Binh Quang(k)
					森本 慎子 (t)(兼)	

連携研究ユニット					
気候変動リスク予測・適応研究 ユニット長：中北英一 R2. 6. 1～R7. 3. 31	中北 英一(兼) 多々納 裕一(兼) 矢守 克(兼) 畑山 満(兼) 榎本 剛(兼) 竹見 哲也(兼) 丸山 敬(兼) 森 信人(兼) 川池 健司(兼) 堀 智晴(兼) 角 哲也(兼) 田中 賢治(兼) 渦岡 良介(兼) 佐山 敬洋(兼)	峠 嘉哉(特) SAMADDAR, Subhajyoti(兼) 藤見 俊夫(兼) 西嶋 一欽(兼) 志村 智也(兼) 山口 弘誠(兼) 竹林 洋史(兼) 吉田 聡(兼) 呉 映昕(特)(兼) 伊藤 耕介(兼)	宮下 卓也(兼) 仲 ゆかり(兼) 山野井 一輝(兼) 山本 浩大(特)(兼) LIU, Huan(特)(兼) 今井 優樹(白)(兼)	(工学) 立川 康人 市川 温 KIM, Sunmin 田中 智大 (学館)山敷 庸亮 (農学) 中村 公人 濱 武英	丹治 星河(特)(兼) 渡邊 紹裕(k)(兼)
地震津波 ユニット長：矢守克也 R3. 8. 1～R8. 7. 31	多々納 裕一(兼) 牧 紀男(兼) 矢守 克也(兼) CRUZ, Ana Maria(兼) 渦岡 良介(兼) 森 信人(兼) 西村 卓也(兼) 宮澤 理稔(兼)	米山 望(兼) 西野 智研(兼) 藤見 俊夫(兼) 伊藤 喜宏(兼) 馬場 康之(兼) 山田 真澄(兼)	中野 元太(兼) 山下 裕亮(兼) 宮下 卓也(兼)		
火山防災 ユニット長：井口正人 R3. 12. 1～R8. 3. 31 (井口ユニット長～R6. 3. 31)	井口 正人(兼) 多々納 裕一(兼) 矢守 克也(兼) 吉村 令慧(兼) 竹見 哲也(兼) 丸山 敬(兼) 森 信人(兼) 榎本 剛(兼) 大見 士朗(兼) 西村 卓也(兼) 王 功輝(兼) 中谷 加奈(宇)(兼)	中道 治久(兼) 為栗 健(兼) 竹林 洋史(兼) 吉田 聡(兼)	井口 敬雄(兼) 石井 杏佳(特)(桜) 山田 大志(兼)	(工学) 大西 正光 竹林 幹雄 [神戸大]	眞木 雅之(k)(桜)・宮本邦明(k)(桜)・西 隆昭(k)(桜)
所長室	中北 英一		松本 充代(支)		
研究企画推進室	松島 信一室長(兼) 畑山 満則教授(兼)・王 功輝教授(兼)・堀 智晴教授(兼)・佐山 敬洋教授(兼) 浅野 公之准教授(兼)・西嶋 一欽准教授(兼)・真田 奈生子(派)				
広報出版企画室	室員 渦岡 良介室長(兼)・榎本 剛副室長(兼)・マネージャー：佐伯 かおる(◇)・JAMES, Wilma Theonesta(◇)R5. 4. 1～R6. 3. 31 松浦 秀起(技術職員 兼) 稲田 弘子(支)				
技術室	技 術 職 員				非常勤研究員等
室長 観測技術グループ 実験技術グループ 機器開発技術グループ 情報技術グループ	吉川 昌宏 園田 忠臣(桜) 久保 輝広(白)・市田 児太郎(穂)・小松 信太郎(宮)・竹中 悠亮(桜) 富阪 和秀 三浦 勉(兼)(宇)・米田 格・名田 彩乃・達山 康人 三浦 勉(宇) 富阪 和秀(兼)・中川 潤・長岡 愛理・中本 幹大(宇) 山崎 友也 松浦 秀起・澤田 麻沙代・川崎 慎吾・宮町 凜太郎				岡田 孝子(g)

◎…部門長, センター長 ☆…客員教員 (連携)…連携教員 ※…外国人研究員 (特)…特定教員・研究員 ◇…特定職員
(k)…非常勤研究員 (支)…支援職員
(g)…研究支援推進員 (s)…教務補佐員 (t)…技術補佐員 (l)…労務補佐員 (r)…リサーチ・アシスタント(RA 経費)(学)
…学振特別研究員 (学・外)…学振・外国人特別研究員
(派)…派遣社員 (兼)…複数研究室兼務 (宇)…宇治川オープンラボラトリー (宇治)…宇治キャンパス勤務 (潮)…潮
岬風力実験所 (白)…白浜海象観測所
(穂)…穂高砂防観測所 (徳地)…徳島地すべり観測所 (大)…大瀧波浪観測所 (上)…上宝観測所 (阿)…阿武山観測所
(宮)…宮崎観測所 (桜)…桜島火山観測所 (休)…休職 (育休)…育児休業 [] 京大雇用の他大学等での勤務地

2.1.4 管理・組織運営

令和 5 年度（令和 5 年 6 月 1 日時点）



令和 5 年度の防災研究所における主な組織変更は、地盤研究グループに斜面未災学研究センターが設立されたことと、総合防災グループの社会防災研究部門に 6 月 1 日に災害リスクファイナンス研究分野が設立されたことである。

斜面未災学研究センターは、斜面災害に関する未災学の体系化を目指し、社会における斜面情報の評価や未災情報の発信を通じて、斜面災害の予測や防止および防災リテラシーの向上を進めることをミッションとしている。防災研究所で提案された「確実に危険とまでは言えないが、安全であると太鼓判を押すこともできない地域（未災の場＝土地）」の安全性を議論する学問」である「未災学」という新しい概念の研

究を推進するために、斜面災害研究センターから改組されたもので、それまでの 2 研究領域から 3 研究領域（未災情報・斜面災害予測・斜面モニタリング）へと拡張された。

災害リスクファイナンス研究分野は、損害保険ジャパン株式会社、および SOMPO リスクマネジメント株式会社との新たな産学協同研究部門として開設されたもので、ファイナンスを活用した自然災害に対する企業の事業継続リスクの低減と自治体や住民の減災活動の支援を目的として、自然災害リスクモデルの高度化とリスクファイナンス手法の開発に取り組むものである。

2.2 各種委員会

2.2.1 将来計画検討委員会

将来計画検討委員会では、防災研の中長期計画、新規人事に関する妥当性の議論（人事準備会）、内規等のルール、技術室の運営、隔地施設の運営等に関する事柄について検討を行っている。2023 年度における活動状況は以下の通りである。

2023 年度には、年度当初に 4 グループの研究目標、人事構想等を議論する戦略的人事ワーキングを開催し、ボトムアップの研究ニーズおよび人材育成についての議論を行い、年度計画を取りまとめた。任期付き助教を対象に若手研究者育成ワークショップを開催し、若手研究者の研究者育成について取り組んだ。前年度取りまとめた研究所のあるべき組織のイメージについての報告書をもとに、短期的および中長期的な具体的な取り組みについて、取りまとめた。これと並行して隔地施設維持のためのベース費用についての基礎資料をアップデートした。また、人事の進め方を戦略的人事ワーキングをベースに改めるとともに、准教授・助教の定員についてのグループごとの割当を定めた。不足するスペースについて、現時点での利用できるスペースを把握するとともに、スペース確保と提供インセンティブについてとりまとめた。

2.2.2 研究・教育委員会

本委員会は、防災研究所における研究・教育に関する様々な検討を行う委員会である。当委員会での検討は執行部と密接に連携させるため、2005 年度から研究・教育担当の副所長が委員長を務めている。本委員会には、研究・教育に関する個別の課題検討を実施するため、教育専門委員会、図書専門委員会、研究企画推進室、DPRI シリーズ出版編集専門委員会の各専門委員会が設置されている。2023 年度は、松島教授（委員長）、畑山教授、池田教授、田中教授（教育専門委員会委員長）、澁谷教授（図書専門委員会委員長）、竹見教授（DPRI シリーズ出版編集専門委員会委員長）、森下事務長、岡本専門職員、真田委員（研究企画推進室室員）で構成された。

防災研究所は、2009 年度に「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として認定され、2010 年度から拠点としての活動を開始した。2022 年度からは拠点として 3

期目に認定された。拠点は共同利用・共同研究拠点委員会（以下、拠点委員会）により運営され、研究企画推進室がサポートしている。

本委員会では、防災研究所自然災害研究協議会、京都大学研究連携基盤持続可能社会創造ユニット、東京大学地震研究所－京都大学防災研究所拠点間連携共同研究委員会の活動に関わる情報を集積し、所内に周知した。また、京都大学研究連携基盤の次世代研究者支援および防災研究所の女性・若手研究者支援、博士後期課程学生の学位論文支援等の審査を行った。さらに、2023 年度には令和 4 年度 DPRI Award の審査と授賞式および令和 5 年度 DPRI Award の募集と審査を行った。

2.2.3 広報国際委員会

広報国際委員会は、広報国際担当副所長、広報・出版専門委員会、行事推進専門委員会、国際交流専門委員会、情報基盤専門委員会、世界防災研究所連合事務局の各専門委員会の委員長（ただし、世界防災研究所連合事務局は事務局長）、そして、技術室、広報出版企画室、担当事務の代表者から構成されている。毎月、委員会を開催して各専門委員会の活動内容を確認するとともに、必要に応じて審議を行い、その内容を教授会に報告している。

広報・出版専門委員会では、ホームページの更新、防災研紹介ビデオの作成、要覧の更新、ニューズレターの発行、年報の発行、読売新聞連載、女子中高生向け魅力見える化コンテンツ作成等支援事業などを行った。

行事推進専門委員会では、令和 5 年度は新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行に伴い、感染防止に努めつつ、対面行事（一部オンライン配信）を開催した。第 34 回公開講座「地震・火山災害に備える 近畿圏の場合も含めて」は、令和 6 年 9 月 9 日に宇治キャンパスきはだホールで開催した。京大ウィークス 2023 では、宇治キャンパス、宇治川オープンラボラトリー、阿武山観測所、潮岬風力実験所、徳島地すべり観測所、宮崎観測所、桜島火山観測所で施設公開などを行った。令和 5 年度研究発表講演会を令和 6 年 2 月 21 日、22 日に宇治キャンパスで開催した。特別講演 3 件、災害調査報告 7 件、口頭発表 151 件、ポスター発表 51 件で、優秀発表賞 15 名、参加者数はオンライン 588 名

(初日), 対面 120 名(所外のみ)であった。また、京都大学防災研究所報告会「令和 6 年能登半島地震災害を理解する」を令和 6 年 1 月 28 日に宇治キャンパスきはだホールで開催した。参加者数はオンライン 273 名, 対面 28 名であった。

国際交流専門委員会では、海外との MOU の新規締結や更新などを実施した。令和 5 年度末時点で 74 件である。

世界防災研究所連合事務局では、第 5 回 Open Discussion Forum を令和 6 年 3 月 12 日に宇治キャンパスで開催した。令和 6 年度時点の参加機関数は 212 (54 の国と地域) である。

2.2.4 評価公正関係委員会

防災研究所の自己点検・評価や教員評価などへの評価事項への対応強化, ならびに不正防止や研究公正などへの公正事項への対応強化を目的として、令和 3 年 2 月教授会にて副所長 4 名体制(評価公正担当副所長の追加)への移行が承認された。これを受けて、令和 4 年度より、評価公正担当副所長は、自己点検・評価委員会委員長を兼ね、研究コンプライアンス推進委員会・部局業績評価委員会・情報セキュリティ委員会・放射線障害防止委員会・安全衛生委員会について、委員長である所長や委員長・幹事を補佐することになった。

自己点検・評価委員会は、防災研究所の研究教育水準の向上を図り、本研究所の目的および社会氏名を達成するため、研究所の研究教育活動などの状況について自己点検・評価を行う委員会である。第 4 期中期目標期間において部局に求められる自己点検評価の充実に対応して、令和 4 年度以後は、毎年度の研究教育活動について年報 C として取りまとめることにした。令和 5 年度は、令和 4 年度を対象とし、年報第 66 号 C として取りまとめ発行した。また、令和 5 年度は、3 年毎の防災研究所自己点検評価報告書の取りまとめ年度であり、その対象期間である令和 2-4 年度の対応する年報 65 号 C および 66 号 C をもとに自己点検評価報告書を作成し公表した。加えて、令和 2-5 年度を対象とする全学における自己点検・評価(教育・研究)に係る現況調査表の取りまとめを行った。

研究不正防止・経理不正防止のために、評価公正副所長ならびに研究コンプライアンス委員会より総合調整会議・教授会を通じて e-Learning の受講など周知を徹底した。加えて、部局独自に新規採用教員向け講習会(4 月)と

全構成員向け講習会(2 月)を開催した。全構成員向け講習会については、ハイブリッド開催し、参加者 141 名であった。

研究コンプライアンス推進委員会は上記定時の周知を中心に、所内規程に従って所内の研究コンプライアンスの推進・充実・強化を進めている。

情報セキュリティ委員会は、平成 16 年に京都大学の情報セキュリティ対策に関する規程に基づいて設置された委員会であり、所長が委員長を務める。ネットワークのセキュリティ確保に関わる事項、ソフトウェアのライセンス監理、情報セキュリティ講習会の開催を通じた啓発活動などを担当している。

放射線障害防止委員会は、放射性同位元素等管理を適正に管理しており、令和 5 年度の委員会開催数は 2 回であった。

安全衛生委員会は、安全衛生巡視計画の策定期間を、従来 4 月・10 月であったところ、3 月・9 月に前倒しし、巡視担当の委員の選任を 8 月として、巡視を十分前もって周知することで、安全衛生に対する意識向上に努めた。また、巡視対象の研究室等を毎年少しずつずらすことで、研究室毎の巡視時期が毎年異なる季節に当たるような巡視計画を策定した。その他、フィールドワークでの安全確保に対する注意喚起、第一種衛生管理者免許取得のための諸経費の防災研究所負担の取り決めの策定など、安全衛生の取り組みを進めた。

○宇治地区における公的研究費等の適正管理及び研究にかかるコンプライアンスに関する取組事例(過去 3 か年分)

公的研究費等の適正管理

年 2 回、経理事務等に関する説明会のプログラム内で実施

2021 年 6 月 28 日

公的研究費等の適正管理について

2021 年 12 月 17 日

不正経理を防止するための取り組みについて

2022 年 7 月 5 日

公的研究費等の適正管理について

2022 年 12 月 16 日

不正経理を防止するための取り組みについて

2023 年 6 月 30 日

ルール遵守の重要性と不正行為の影響

2023 年 12 月 22 日

不正防止計画におけるモニタリング

出張事実の確認

前年度の出張案件から無作為抽出したものについて、打合せ相手などに書面で出張事実を確認

2021 年度 12 件
 2022 年度 10 件
 2023 年度 12 件

謝金実態ヒアリング

謝金から無作為抽出したものについて、実施者本人にヒアリングを実施

2021 年度 4 件
 2022 年度 4 件
 2023 年度 4 件

競争的研究費等運用実態ヒアリング

2010 年度から「京都大学競争的資金等不正防止計画」に基づき、各研究室の実態を把握した上で適切な指導・助言を行い、研究費の円滑な執行を目指して、宇治地区事務部職員が数名ずつのチームを組んで各研究室を訪問してヒアリングを実施している。

実施に当たっては、チェックシートを用いるなど、ポイントを明確化しているほか、ヒアリングを行う側のレベルを一定に保つよう心掛けている。

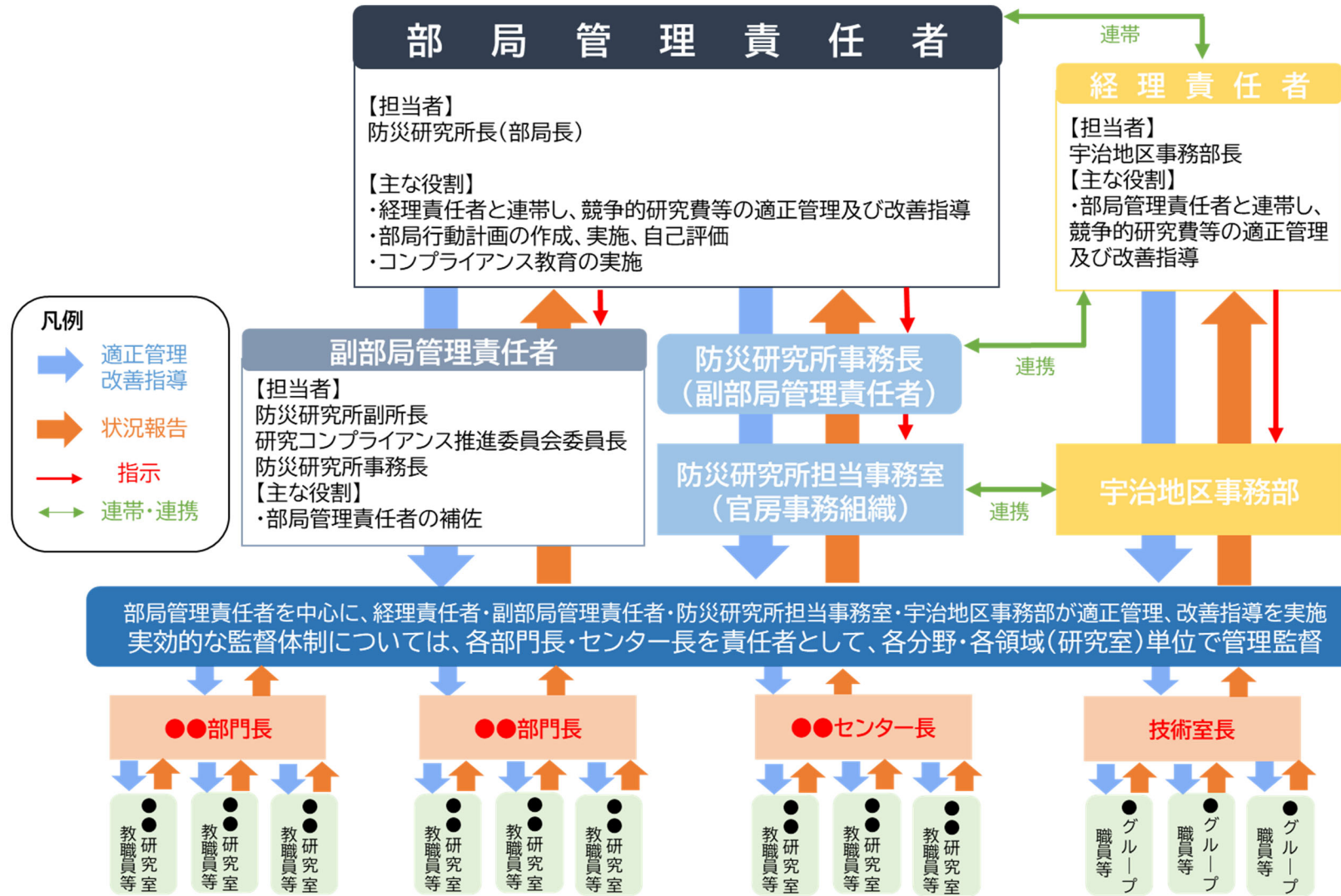
○防災研究所 不正防止に関する全所集会（過去 3 か年分）

開催日	時間	場所
令和 4 年 2 月 22 日	17:00～ 17:10	Zoom
令和 5 年 2 月 22 日	16:30～ 16:45	きはだホール および Zoom のハイブリッド
令和 6 年 2 月 22 日	16:30～ 16:45	きはだホール および Zoom のハイブリッド

2.2.5 その他委員会

厚生委員会は、防災研究所構成員（教員・事務職員・技術職員・学生）の福利厚生の一環として、文化・スポーツ・レクリエーション活動等の行事を開催した。令和 5 年度は、文化事業 1 件、スポーツ事業 2 件、ならびにレクリエーション事業 1 件を実施した。スポーツ事業では、コロナ感染症の感染防止対策に係り 4 年ぶりの開催となったボウリング大会を実施し、教員から学生まで計 76 名に参加いただくことができた。

防災研究所 競争的研究費等の適正管理における責任体系図



令和 5 年度

委員会名	教授	准教授	講師	助教	事務・技術室	業務内容	開催数
将来計画検討委員会	15	0	0	0	2	研究所の中長期的組織の構想, 人事, 内規等の作成と審議, フィールド研究拠点専門委員会, 施設整備専門委員会, 技術専門委員会, 男女共同参画推進専門委員会の活動内容の確認と審議	11
フィールド研究拠点専門委員会	6	0	0	0	0	各フィールド研究拠点の財務状況に関する調査を前年度に引き続いて行うとともに, 活性化に向けた方法や制度についてもアンケート調査を実施し, その結果を整理	2
施設整備専門委員会	3	4	0	1	0	研究環境整備の募集と審査(年2回)及びサポート拠点支援経費の募集と審査(年1回または年度末に追加1回)が主な業務これに加えて随時, 不要設備の調査等の依頼への回答などを担当	0
技術専門委員会	2	2	0	0	1	技術室の運営に係る採用, 異動, 課題についての審議と対応	4
男女共同参画推進専門委員会	5	2	0	1	0	男女共同参画の推進及び必要な啓発活動の実施, その他男女共同参画の推進に関することを担当	4
研究・教育委員会	6	0	0	0	3	研究・教育に関わる所内委員会活動の取りまとめおよび関係する所外組織との連携	11
研究企画推進室	4	3	0	0	3	共同利用・共同研究拠点委員会の事務局を担当し, 共同研究の公募要領案の作成, 審査結果の取りまとめ等を実施 防災研座談会の定常開催を始め, 2回実施 重点課題ワークショップを開催し, 大型研究プロジェクトへの関わり方について議論する場を設けた	11
教育専門委員会	2	1	0	0	0	全学教育シンポジウムに出席 委員長は, 国際高等教育院集中講義申請審査, DPRI Award 選考, 所内公募研究等助成選考の委員を担当	0
図書専門委員会	2	3	0	0	0	図書, 雑誌, 電子ジャーナル, および必要経費の検討	4
DPRI シリーズ出版編集専門委員会	3	3	0	0	0	DPRI シリーズ出版計画について進捗管理	3
広報国際委員会	8	0	0	0	3	広報・出版専門委員会, 行事推進専門委員会, 国際交流専門委員会, 情報基盤専門委員会, 世界防災研究所連合事務局, 広報出版企画室の活動内容の確認と審議	13
広報・出版専門委員会	2	9	0	2	5	ホームページの更新, 防災研紹介ビデオの作成, 要覧の更新, ニュースレターの発行, 年報の発行, 読売新聞掲載, 女子中高生向け魅力見えるかコンテンツ作成等支援事業など	1

行事推進専門委員会	5	4	1	2	7	防災研公開講座，宇治キャンパス公開，研究発表講演会の企画と実施	8
国際交流専門委員会	3	3	0	0	0	学術の国際交流，学生の海外留学及び外国人留学生，教育及び研究の国際戦略，その他国際交流などに関することについて，審議する．	42
情報基盤専門委員会	1	0	0	0	2	研究・教育・所運営を効率的に行うための情報基盤整備	0
情報セキュリティ委員会	4	4	0	0	4	ネットワークのセキュリティ確保に係わる事項，ソフトウェアのライセンス管理，情報セキュリティ講習会の開催を通じた啓発活動を担当	2
自己点検・評価委員会	2	4	0	0	3	防災研究所の研究教育水準の向上を図り，本研究の目的および社会氏名を達成するため，研究所の研究教育活動などの状況について自己点検・評価を行う	8
業績評価委員会	2	0	0	0	0	教員の業績評価に関する業務	0
厚生委員会	0	1	0	2	2	防災研究所構成員（教員・事務職員・技術職員・学生）の福利厚生の一環として，文化・スポーツ・レクリエーション活動等の行事を開催	5
人権委員会	4	1	0	0	1	人権問題及びハラスメント問題に関する重要事項を審議する	0
研究コンプライアンス推進委員会	5	0	0	0	1	所内規程に従って所内の研究コンプライアンスの推進・充実・強化を進めている	0
財務委員会	5	0	0	0	1	防災研究所の予算・執行について	2
放射線障害防止委員会	3	1	0	0	0	京都大学における放射性同元素等の規制に関する規程に基づき，放射線の安全管理に関する具体的な事項を定め，放射線に関する学内外の安全を確保する	2
安全衛生委員会	4	0	0	1	3	所内の安全衛生巡視計画の策定ならびに巡視の実施，事故発生時の報告と対応策の策定など安全衛生管理全般に係る業務を実施	6

所内委員会等委員名簿

(2023. 10. 1 現在)

委員会名	委員名	任期
将来計画検討委員会(含む人事準備会)	☆森, 多々納, 澁谷, 堀, 王, 牧, 畑山, 榎本, 竹見, 大見, 田中, 川池, 佐山, 西村, 松四, 中谷, 森下(事), 岡本(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31
フィールド研究拠点専門委員会	☆堀, 矢守, 牧, 西村, 川池, 中谷	2023. 4. 1~2024. 3. 31
施設整備専門委員会	☆大見, 佐山, 境, 為栗, 馬場, 宮田, 上田, 中野	2023. 4. 1~2024. 3. 31
技術専門委員会	☆澁谷, 松四, 竹林, 中道, 吉川(技)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (総務課人事係)
男女共同参画推進専門委員会	☆森, 榎本 [幹事], 川池, 佐山, 中谷, Cruz, 関口, 山田(真澄), 宮下	2023. 4. 1~2024. 3. 31
研究・教育委員会	☆松島, 畑山, 池田, 田中, 澁谷, 竹見, 森下(事), 岡本(事), 真田(推)	2023. 4. 1~2024. 3. 31
研究企画推進室	☆松島, 畑山, 王, 堀, 浅野, 西嶋, 佐山, 真田(推), 岡本(事), 中野(事), 村田(URA)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (研協課風支係)
教育専門委員会	☆田中, 岩田, 藤見	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (総務課総務係)
図書専門委員会	☆澁谷 [図書館総務員], 五十嵐, 廣井, 寺嶋, 上田 [※] [宇治分館運営委]	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (研協課学情係) ※2022. 4. 1~2024. 3. 31
DPRI シリーズ出版編集専門委員会	☆竹見, 丸山, 矢守, Cruz, 伊藤(喜), Kantoush, 山崎(新)	2023. 4. 1~2024. 3. 31
広報国際委員会	☆湯岡, 牧, 榎本, 矢守, 王, 池田, 多々納, 角, 吉川(技), 佐伯(広), 森下(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31
広報・出版専門委員会	☆榎本, 関口, 吉田, 後藤, 土井, 丸山, 西野, 廣井, 宮澤, 片尾, 深畑, 西嶋, 宮下, 佐伯(広), James(広), 松浦(技・広), 稲田(広), 岡田(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (総務課総務係)
行事推進専門委員会	☆矢守 [研究発表講演会], 境 [公開講座], 田中 ^{※1} , 藤見 ^{※1} [キャンパス公開], 川池, Lahournat, 浅野, 齊藤, 直井, 大見, 廣井, 高志村, 仲, 中本(技), 佐伯(広), James(広), 松浦(技・広), 稲田(広), 中野(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (研協課風支係) ※2023. 1. 1~2023. 12. 31
国際交流専門委員会	☆王, Cruz, 伊藤(耕), 山口, 後藤, 野田	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (研協課国際係)
情報基盤専門委員会	☆池田, 吉川(技), 米田(技)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (総務課総務係)
世界防災研究所連合 (GADRI) 事務局	☆多々納 [GADRI 事務局長], 牧, Cruz, 角, 竹見, Samaddar, 藤見, 後藤, 深畑, 松四, 川池, 田中, Kantoush, 中野, 松浦(技・広), James(広), 竹辺(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31
情報セキュリティ委員会	☆所長, 吉村, 角 [情報セキュリティ技術責任者], 堀, 西村, 寺嶋, 吉田, 吉川(技), 山崎(技), 川崎(技), 岡本(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31
自己点検・評価委員会(含む外部評価)	☆吉村, 池田, 山口, 関口, 野田, 山崎(新), 山崎(技), 澤田(技), 森下(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (総務課総務係)
業績評価委員会	☆所長, 吉村	2023. 4. 1~2024. 3. 31
厚生委員会	☆長嶋, 畑, 山野井, 名田(技), 岡田(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (担当事務係)
人権委員会	☆所長, Cruz, 佐山, 関口, 長嶋, 山口(事務部長)	2023. 4. 1~2024. 3. 31
ハラスメント窓口相談員	Cruz, 関口, 佐山, 森下(事), 岡本(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (総務課総務係)
研究コンプライアンス推進委員会	☆畑山, 吉村, 松四, 角, 森下(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31
財務委員会	☆所長, 森, 松島, 湯岡, 吉村, 森下(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (総務課財金係)
放射線障害防止委員会	☆所長, 吉村, 王, 松四	2023. 4. 1~2024. 3. 31
安全衛生委員会	☆所長, 吉村, 竹見 [幹事], 吉川(技) [副幹事], 田中, 井口(敬) ^{※1} , 富阪 ^{※1} (技), 岡田(事)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 ※2023. 10. 1~2024. 9. 30
衛生管理者資格保持者	総合防災G(牧, 畑山, 佐山, 関口, 中野), 地震・火山G(松島, 吉村, 宮澤, 倉田, 伊藤(喜), 野田, 為栗, 山崎(健), 山本(圭)), 地盤G(湯岡, 松四, 山崎(新), 齊藤, 土井), 大気・水G(角, 川池, 竹見, 田中, 馬場, 竹林, 吉田, 井口(敬), 山野井, 仲), 技術室(吉川, 三浦, 富阪, 松浦, 澤田, 山崎, 米田, 園田, 小松, 久保, 市田, 川崎, 中川, 長岡, 中本, 宮町, 名田, 達山)	
部局安全保障輸出管理担当者	所長 [部局安全保障輸出管理責任者], 王	2023. 4. 1~2024. 3. 31
奨学金運営委員会	☆所長, 松島, 岩田	2023. 4. 1~2024. 3. 31
共同利用・共同研究拠点委員会	1号委員: 松島 [事務局長], 井口(正), 田中, 大見, 事務局: 畑山, 王, 堀, 浅野, 西嶋, 佐山, オブザーバー: 所長	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (研協課風支係)
自然災害研究協議会	1号委員: 池田, 3号委員: 五十嵐 [総務], 角 [国際連携], 松四 [突発災害], 西野 [企画調査], 6号委員: 廣井, 畑山 [データベース] オブザーバー: 所長, 松島 (研究・教育担当副所長)	2023. 4. 1~2024. 3. 31 (研究協力課)
防災研究連携委員会(防災研究フォーラム・防災研究ハブ幹事会)	所長, 多々納, 湯岡, 森, 松島, 吉村	2023. 4. 1~2024. 3. 31
東大地震研・京大防災研拠点間連携共同研究委員会	1号委員: 牧 [委員長], 湯岡, 大見, 西村, 西野 オブザーバー: 所長	2023. 4. 1~2024. 3. 31

(備考: ☆は委員長 ♪内の課・掛は宇治地区事務部の対応協力課・掛)

2.3 予算の変遷

(単位：千円)

年度 区分	初年度	昭和56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
国立学校特別会計予算額	5,639	1,452,992	1,447,229	1,604,762	1,623,254	1,744,303
人件費	2,394	814,960	800,668	872,999	990,848	1,002,841
物件費	3,152	596,852	602,514	688,403	608,741	645,062
営繕費	93	41,180	44,047	43,360	23,665	96,400
科学研究費補助金	0	150,162	97,020	147,926	96,642	173,107
計	5,639	1,603,154	1,544,249	1,752,688	1,719,896	1,917,410

年度 区分	61年度	62年度	63年度	平成元年度	2年度	3年度
国立学校特別会計予算額	1,662,724	2,482,223	1,568,059	1,804,128	2,149,254	2,353,941
人件費	976,975	1,102,903	957,081	1,128,507	1,284,013	1,506,774
物件費	619,149	707,984	558,928	593,256	825,441	835,867
営繕費	66,600	671,336	52,050	82,365	39,800	11,300
科学研究費補助金	146,133	146,492	113,503	138,401	156,317	177,200
計	1,808,857	2,628,715	1,681,562	1,942,529	2,305,571	2,531,141

年度 区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
国立学校特別会計予算額	2,197,911	3,521,347	2,318,182	4,058,312	2,791,900	2,571,205
人件費	1,312,878	1,548,227	1,346,525	1,349,277	1,385,239	1,477,829
物件費	837,033	1,967,328	933,254	2,663,035	1,405,561	1,079,476
営繕費	48,000	5,792	38,403	46,000	1,100	13,900
科学研究費補助金	133,100	221,600	182,300	212,900	250,100	231,000
計	2,331,011	3,742,947	2,500,482	4,271,212	3,042,000	2,802,205

年度 区分	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
国立学校特別会計予算額	2,476,604	2,382,222	2,510,565	2,530,143	2,435,081	2,340,243
人件費	1,492,972	1,477,544	1,589,034	1,702,589	1,611,983	1,527,295
物件費	944,690	872,148	913,998	806,733	815,098	809,060
営繕費	38,942	32,530	7,533	20,821	8,000	3,888
科学研究費補助金	257,781	308,676	263,180	219,500	224,900	248,400
計	2,734,385	2,690,898	2,773,745	2,749,643	2,659,981	2,588,643

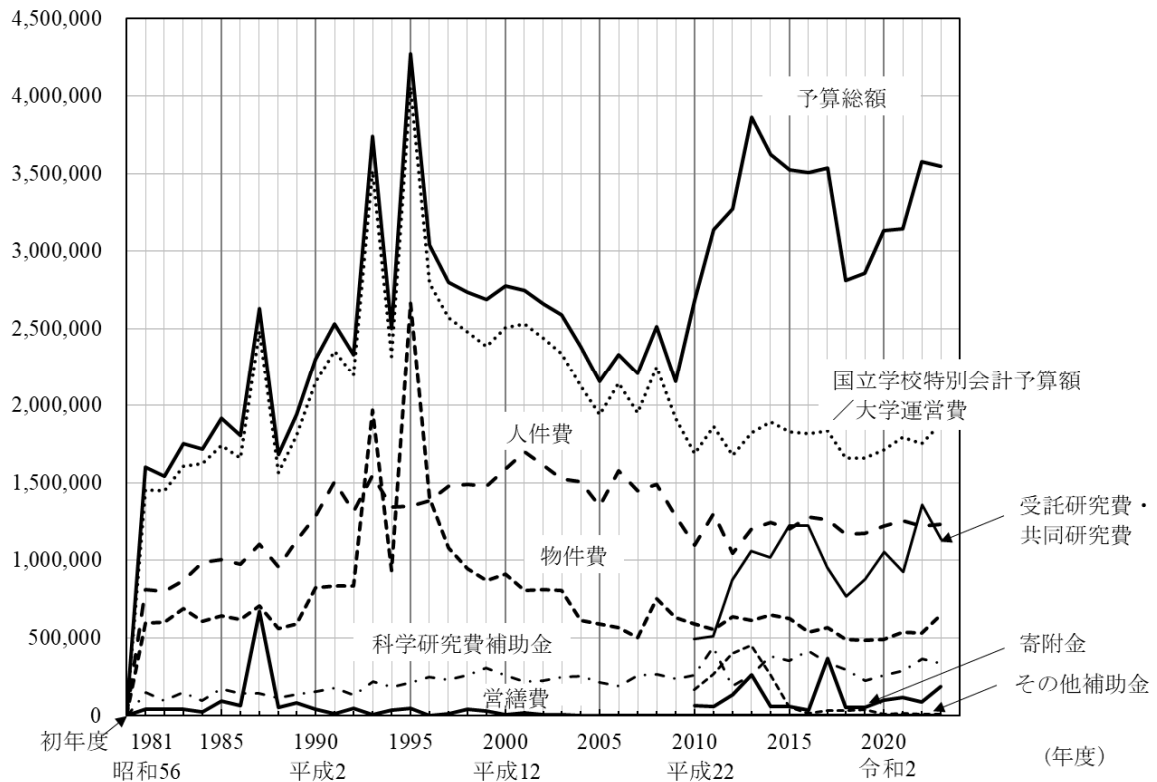
年度 区分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
国立学校特別会計予算額	2,126,120	1,942,384	2,143,004	1,950,987	2,248,895	1,918,545
人件費	1,509,566	1,353,384	1,577,004	1,449,987	1,492,098	1,287,849
物件費	616,554	589,000	566,000	501,000	756,797	630,696
営繕費	0	0	0	0	0	0
科学研究費補助金	257,500	212,000	189,300	259,110	265,200	238,090
計	2,383,620	2,154,384	2,332,304	2,210,097	2,514,095	2,156,635

年度 区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
運営費交付金予算額	1,690,832	1,862,960	1,678,657	1,821,466	1,891,171	1,828,777
人件費	1,097,671	1,304,999	1,043,967	1,204,843	1,244,096	1,202,326
物件費	593,161	557,961	634,690	616,623	647,075	626,451
営繕費	0	0	0	0	0	0
科学研究費補助金	262,120	440,390	188,750	261,600	385,609	352,873
受託研究費・共同研究費	495,391	514,564	872,859	1,063,866	1,019,302	1,226,920
寄附金	66,974	57,936	133,263	260,763	61,690	56,935
その他の補助金	169,173	263,558	401,266	456,056	267,395	57,217
計	2,684,490	3,139,408	3,274,795	3,863,751	3,625,167	3,522,722

年度 区分	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
運営費交付金予算額	1,816,579	1,835,646	1,659,469	1,658,816	1,710,683	1,793,892
人件費	1,279,742	1,265,541	1,168,358	1,172,665	1,219,617	1,257,048
物件費	536,837	570,105	491,111	486,151	491,066	536,844
営繕費	0	0	0	0	0	0
科学研究費補助金	417,970	341,950	295,935	224,663	259,141	289,690
受託研究費・共同研究費	1,227,236	957,311	770,261	879,749	1,058,131	926,978
寄附金	33,526	365,864	51,457	54,783	97,343	119,787
その他の補助金	14,152	34,613	31,720	37,812	9,485	12,638
計	3,509,463	3,535,384	2,808,842	2,855,823	3,134,783	3,142,985

年度 区分	4年度	5年度
運営費交付金予算額	1,753,600	1,881,835
人件費	1,219,782	1,233,511
物件費	533,818	648,324
営繕費	-	-
科学研究費補助金	367,126	335,009
受託研究費・共同研究費	1,360,367	1,139,127
寄附金	85,519	187,473
その他の補助金	11,300	6,600
計	3,577,912	3,550,044

(単位：千円)



- 1) 平成 15 年度までの「国立学校特別会計予算額」は、平成 16 年の国立大学法人化以降は「大学運営費予算額」とした。それらは、「人件費」,「物件費」および「営繕費」の合計である。
- 2) 平成 16 年度以降, 営繕に係る費用は「物件費」に含む。
- 3) 平成 22 年度以降, 60 年史には掲載されていない「受託研究費・共同研究費」,「寄附金」および「その他の補助金」の受入額を追加した。
- 4) 「受託研究費・共同研究費」には, 受託事業費と共同事業費も含まれる。

2.4 隔地観測所・実験所

地震災害研究センター Research Center for Earthquake Prediction

- A** 上宝観測所 Kamitakara Observatory
〒506-1317 岐阜県高山市上宝町本郷 2296-2
Tel. 0578-86-2350
- B** 北陸観測所 Hokuriku Observatory
〒916-0034 福井県鯖江市下新庄町 88 下北山 29
- C** 逢坂山観測所 Osakayama Observatory
〒520-0054 滋賀県大津市逢坂 1
- D** 屯鶴峯観測所 Donzurubo Observatory
〒639-0252 奈良県香芝市穴虫 3280-2
- E** 鳥取観測所 Tottori Observatory
〒680-0004 鳥取県鳥取市北園 1 丁目 286-2
- F** 宮崎観測所 Miyazaki Observatory
〒889-2161 宮崎県宮崎市加江田 3884
Tel. 0985-65-1161
- G** 阿武山観測所 Abuyama Observatory
〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944
Tel. 072-694-8848
- H** 徳島観測所 Tokushima Observatory
〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井 2642-3

火山活動研究センター Sakurajima Volcano Research Center

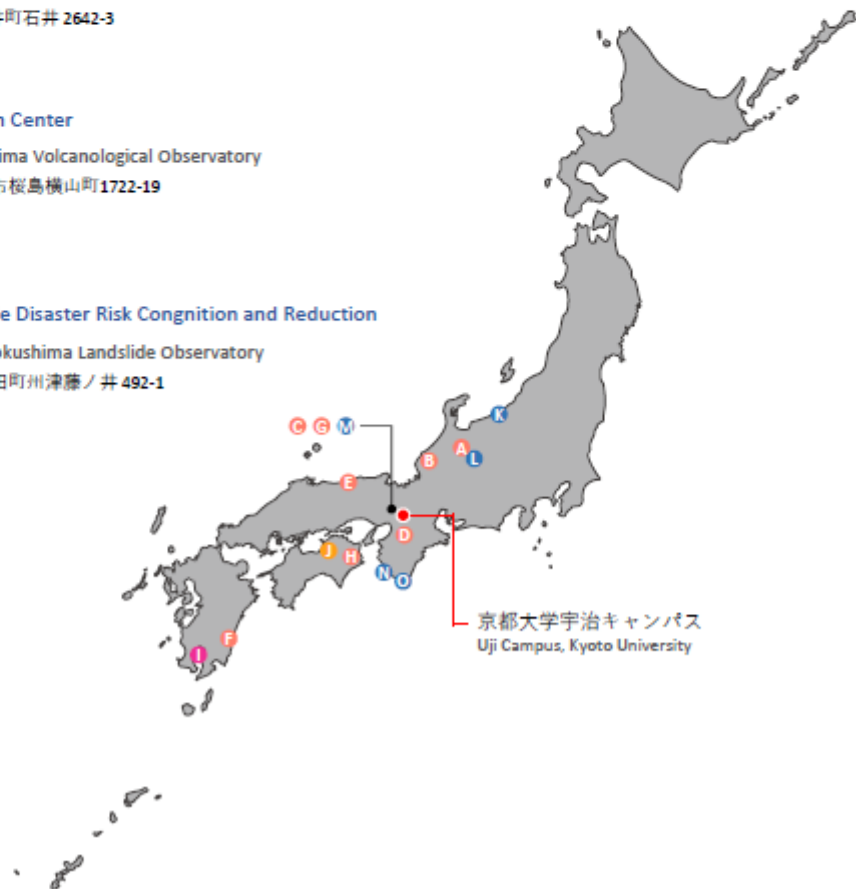
- I** 桜島火山観測所 Sakurajima Volcanological Observatory
〒891-1419 鹿児島県鹿児島市桜島横山町 1722-19
Tel. 099-293-2058

斜面防災学研究センター Research Center for Landslide Disaster Risk Congnition and Reduction

- J** 徳島地すべり観測所 Tokushima Landslide Observatory
〒778-0020 徳島県三好市池田町州津藤ノ井 492-1
Tel. 0883-72-1075

流域災害研究センター Research Center for Fluvial and Coastal Disasters

- K** 大潟波浪観測所 Ogata Wave Observatory
〒949-3111 新潟県上越市大潟区四ッ屋浜 578-2
Tel. 075-611-0520
- L** 穂高砂防観測所 Hodaka Sedimentation Observatory
〒506-1422 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷中尾 436-13
Tel. 0578-89-2154
- M** 宇治川オープンラボラトリー Ujigawa Open Laboratory
〒612-8235 京都府京都市伏見区横大路下三橋東ノ口
Tel. 075-611-4391
- N** 白浜海象観測所 Shirahama Oceanographic Observatory
〒649-2201 和歌山県西牟婁郡白浜町壱田 2500-106
Tel. 0739-42-4352
- O** 潮岬風力実験所 Shionomisaki Wind Effect Laboratory
〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 3349-134
Tel. 0735-62-0693



2.5 研究環境整備・助成事業

所長裁量経費による研究環境整備や若手・女性研究者，国際的活動への助成事業について，記載する。

2.5.1 研究環境整備事業採択一覧 令和 5 年度

部門・センター	申請者	施設・機器名 (整備内容)
社会防災研究部門	境 有紀	強震応答実験棟・強震応答実験装置
社会防災研究部門	境 有紀	強震応答実験棟 強震応答実験装置・鋼構造実大試験 架構
地震災害研究センター	深畑 幸俊	阿武山観測所・手すり設置
地震災害研究センター	大見 士朗	上宝蔵柱観測室の ISDN サービス終了に伴う光回線敷 設工事
地震災害研究センター	澁谷 拓郎	宮崎観測所・エアコン
火山活動研究センター	為栗 健	ハルタ山観測室・フェンス改修
火山活動研究センター	中道 治久	諏訪之瀬島におけるレーダー観測用コンテナ
火山活動研究センター	井口 正人	桜島火山観測所・テレメータ記録室空調機，南研究室 空調機室外機
火山活動研究センター	山本 圭吾	黒神観測室・防水工事
火山活動研究センター	為栗 健	桜島観測所・高免観測坑道
地盤災害研究部門	上田 恭平	遠心力載荷実験室・壁面
地盤災害研究部門	上田 恭平	遠心力載荷実験室および倉庫・産廃処理等
地盤災害研究部門	松四 雄騎	E105D 地質分析室・ドラフトチャンバー屋上排気ダク トおよびファンモーター
斜面未災学研究センター	山崎 新太郎	徳島地すべり観測所・老朽設備更新 (エアコン・ガス 給湯器)
気象・水象災害研究部門	竹見 哲也	宇治川オープンラボラトリー・局地異常気象観測解析 装置
流域災害研究センター	宮田 秀介	穂高砂防観測所・不要物品撤去
流域災害研究センター	山上 路生	宇治川オープンラボラトリー・東北巨大地震津波を踏 まえた革新的陸上遡上津波再現・解析装置
流域災害研究センター	山上 路生	宇治川 OL・平面造波水槽 (第 3 実験棟) および河口堆 積実験装置 (第 1 実験棟)
流域災害研究センター	馬場 康之	潮岬風力実験所・3 次元超音波風速計一式 (大気乱流計 測システムの一部)
流域災害研究センター	馬場 康之	白浜海象観測所，旧観測所・シャッター

流域災害研究センター	川池 健司	【宇治川ラボ】宇治川オープンラボラトリー・産業廃棄物の廃棄
------------	-------	-------------------------------

2.5.2 女性・若手研究者支援採択一覧

令和 5 年度

部門・センター	申請者	職名 学修課程	事業名
社会防災研究部門	伊藤 恵理	特定助教	論文掲載助成
巨大災害研究センター	CRUZ ANA MARIA	教授	論文掲載助成
地震災害研究センター	MPUANG Admore Phindani	特定研究員	論文掲載助成
地震災害研究センター	Calvin Luiramo Qwana	博士後期課程	論文掲載助成
地震災害研究センター	村本 智也	後期博士課程 3 年	論文掲載助成
地震災害研究センター	Farazi Atikul Haque	後期博士課程 3 年	論文掲載助成
地震災害研究センター	上田 拓	特定研究員 (学振 PD)	論文掲載助成
火山活動研究センター	山田 大志	助教	論文掲載助成

2.5.3 博士学位論文支援採択一覧

令和 5 年度

部門・センター	申請者	学修課程	事業名
社会防災研究部門	HARIS RAHADIANTO	D4	製本
地震災害研究センター	MPUANG Admore Phindani	D4	製本
地震災害研究センター	ATIKUL HAQUE FARAZI	D3	製本
気象・水象災害研究部門	千田 優	D3	製本
流域災害研究センター	于合理 (Yu Heli)	D3	製本・英文校閲
水資源研究センター	Sadyrov Sanjar	D3	製本

2.5.4 博士後期課程学生の海外渡航支援採択一覧

令和 5 年度

部門・センター	申請者	学修課程	事業名
地震災害研究センター	Ketzallina Flores	D2	学会発表
地震災害研究センター	Yanhan Chen	D2	学会発表
地震災害研究センター	野末 陽平	D1/学振特別研究員	学会発表
火山活動研究センター	Vico Luthfi Ipmawan	D3	学会発表
気象・水象災害研究部門	中下 早織	D2	研究打合せ
気象・水象災害研究部門	大野 哲之	D3	研究打合せ
流域災害研究センター	松本 知将	D2	学会発表

2.5.5 国際交流・国際共同研究事業採択一覧

令和 5 年度

部門・センター	申請者	事業名	MOU (有無)
巨大災害研究センター	Cruz Ana Maria	Are serious games a good strategy to promote multi-stakeholder dialogue and risk awareness? Case study application of EGNARIA	無
地震防災研究部門	倉田 真宏	Turkey-Japan Workshop on Earthquake Impact Analysis on Hospitals in 2023 Kahramanmaraş Earthquake	無
地震災害研究センター	伊藤 喜宏	ニュージーランド・ヒ克蘭ギ沈み込み帯で実施される海底圧力・地震観測に関する調査航海への大学院生の派遣	有
地震災害研究センター	松島 信一	台南台地周辺の地盤増幅特性に関する台湾国立成功大学との国際共同研究	無
火山活動研究センター	畑 真紀	沈み込み帯における火山形成メカニズムに解明に向けた電気比抵抗構造調査	有
地盤災害研究部門	上田 恭平	南アフリカ共和国における埋設管ネットワークの耐震性能向上に向けた国際共同研究	無

2.6 表彰

2.6.1 DPRI Award

- **受賞者：** Dr. Victor Manuel Cruz Atienza (ビクトール・マヌエル・クルス・アティエンツア)
Professor, Department of Seismology, Institute of Geophysics, UNAM (Universidad Nacional Autónoma de México;
National Autonomous University of Mexico) [メキシコ国立自治大学地球物理学研究所地震学部門 教授]
- **賞の名称：** 第 9 回防災研究所国際表彰 DPRI Award (2022 年度) 研究教育貢献賞
- **授賞理由：**
Victor Manuel Cruz Atienza 氏は、Nature's 10 に選出される研究成果を上げられ、また、SATREPS プロジェクトを通じ防災研と密接な関わりを持ち、その中で若手研究者との共同研究を主導するなど、研究・教育面で防災研におおいに貢献されました。Atienza 氏の研究業績および防災研究所が関わる国際プロジェクトへの貢献に鑑み、「研究教育貢献賞」を授与することに決定いたしました。

授賞式は下記のとおり実施した。

日時： 2024 年 1 月 10 日 (水) 10:30~12:00

場所： 京都大学宇治キャンパス おうばくプラザ きはだホール

2.6.2 京都大学防災研究所 研究発表講演会 優秀発表賞

2024年2月21-22日に開催された研究発表講演会において、一般講演・ポスターセッションの若手研究者による発表の中から特に優れた発表を「優秀発表賞」として表彰した。

発表番号	発表者	発表題目
A204	宮副真夢	脆性塑性遷移における石英多結晶体の剪断実験—変形組織からの塑性変形割合の推定
B105	中下早織	2022年6月19日の東シナ海集中観測の領域アンサンブル同化実験
B109	岡崎恵	BIN型雲モデルを用いた対流降水系内の流れ場に起因する雨滴粒径分布の時空間構造
B208	鹿倉佳央梨	土石流氾濫領域の確率的予測とその気候変動影響評価
B209	伊藤駿	CMIP6 HighResMIP実験にもとづく東アジア沿岸における可能最大高潮の将来変化予測の高度化
C205	中村亮太	日本の流水型ダムの種類
C208	岡本悠希	アンサンブル降雨予測を利用した多目的ダム運用の最適化に関する研究
C209	松本知将	河道内に遍在する植生群落近傍の乱流構造および浮遊砂堆積に関する実験的研究
D206	Changze LI	Numerical Analyses of Rock Avalanche Focusing on the Effects of Block Size and Block Shape Based on 3D Discontinuous Deformation Analysis
E207	和田好世	日本の災害対応における行政と地域建設業者の関係性に関する構造分析
E208	黒澤宗一郎	歴史災害の記録を活用した防災学習教材の検討
E209	田中穂乃香	黒潮町における聴覚障がい者の個別避難計画作成
P02	後藤彰太	常時微動探査から推定される地盤構造と2018年大阪府北部の地震における茨木市の被害分布との関係
P09	吉村嶺	ETASモデルとAICを用いた群発地震検出手法開発の試み
P23	Jiachao CHEN	A Precipitation Event Extraction Method for Processing 5-km d4PDF and Developing High-resolution National Discharge Quantile Maps

2.7 自然災害協議会

自然災害研究協議会は、全国の防災関連研究機関・研究者のネットワークを通じて、研究者の連携による自然災害研究推進を目的とした様々な活動を行っている。年 3 回の協議会を開催して重要事項を審議するほか、下記の事業を推進している。

1) シンポジウム等の開催

自然災害の調査研究の成果発表の場として、各種の研究集会等を開催している。本部の主催行事としては、自然災害科学総合シンポジウムを毎年開催している。

・第 59 回 自然災害科学総合シンポジウム

2022 年 9 月 26 日：ハイブリッド開催（防災研究所連携研究棟大セミナー室および Zoom）

災害調査報告 6 件，研究報告 1 件，参加者 85 名

・河川災害に関するシンポジウム（土木学会水工学委員会との共催）

2023 年 2 月 24 日：オンライン開催

参加者：332 名

・2023 年トルコ・シリア地震現地調査速報会（愛媛大学理工学研究科社会インフラメンテナンส์工学講座との共催）

2023 年 3 月 15 日：ハイブリッド開催（愛媛大学北キャンパスおよび Zoom）

参加者：300 名

2) 突発災害調査の実施（特別研究促進費）

突発災害発生時に調査研究チームを結成し、科学研究費補助金特別研究促進費の申請とその助成に基づく調査研究を実施している。調査成果は上記の自然災害科学総合シンポジウムでの講演発表を通じて情報共有を図っている。

・トンガ海底火山噴火とそれに伴う津波の予測と災害に関する総合調査

研究代表者：佐竹健治（東京大学教授）

※令和 3 年度より継続

・能登半島北東部において継続する地震活動に関する総合調査

研究代表者：平松良浩（金沢大学教授）

・2023 年トルコ南部の地震と災害に関する総合調査

研究代表者：楠浩一（東京大学教授）

3) 突発災害調査研究支援

京都大学防災研究所共同利用・共同研究拠点重点推進型共同研究に基づく突発災害発生時の研究者による初動調査やその後の継続的調査等の支援を実施している。

・令和 5 年 2 月トルコ南部地震災害

4) 防災研究情報の共有環境整備

・災害資料データベース SAIGAI の管理

・メーリングリストによる自然災害研究者ネットワークの整備

5) 国際展開調査

・世界防災研究所連合 GADRI との連携

委員会名	委員構成					業務内容	開催数
	教授	准教授	講師	助教	事務技術室		
自然災害研究協議会	5	2	0	0	1	突発災害調査研究支援・研究者ネットワーク整備・シンポジウム等の開催	3